



ふくいの子どもたちと先生のための GGKニュースNEXT



つながる工夫

Web活用で広がる、保護者と教職員の新しいつながり方

学校を取り巻く環境が変化する中で、保護者同士や教職員同士が集まる機会は以前より少なくなっています。今回は、時間や場所に縛られずに交流や協働を実現する工夫について紹介します。



🖥️ 保護者全員が参加者になるPTAへ

社会環境の変化により、保護者同士や教員と保護者が集まる機会は以前より少なくなっています。そんな中、Canvaを活用してPTA新聞を全家庭で共同編集している学校があります。Web上で作業できるため、時間や場所を選ばず参加でき、担当者の負担軽減と保護者の参画意識向上につながっています。クラウドを活用した情報交換や共同作業は、新しいPTA活動の形として注目されています。



- ✓ PTA新聞を共同編集
- ✓ 時間や場所を問わず参加可能
- ✓ 担当者の負担軽減
- ✓ 保護者の参画意識向上

👥 教員同士のつながり

学校の小規模化が進む中、特に単学級の学年担任は、行事運営や学習指導について相談相手が少ない場合があります。学年担任同士が学校の枠を越えてつながることで、新たな気付きや実践のヒントを得ることができます。オンライン会議やアプリを活用すれば、時間や場所の制約なく情報交換ができ、より主体的で参加しやすい学び合いの場がつくれます。



- ✓ 学年運営の悩みを相談できる
- ✓ 他校の実践から発想を得られる
- ✓ 移動時間を削減できる
- ✓ 都合のよい時間に参加できる

COLUMN

「つながり」は業務改善の第一歩

社会の変化とともに、人とのつながり方も変化しています。デジタルツールは業務を減らすためだけでなく、対立やトラブルを低減させ、新たな対話や協働を生み出し、信頼関係の構築にもつながります。時間や場所の制約を超えて、誰もが無理なく参加できる仕組みづくりが、これからの学校運営の鍵になるのではないのでしょうか。

